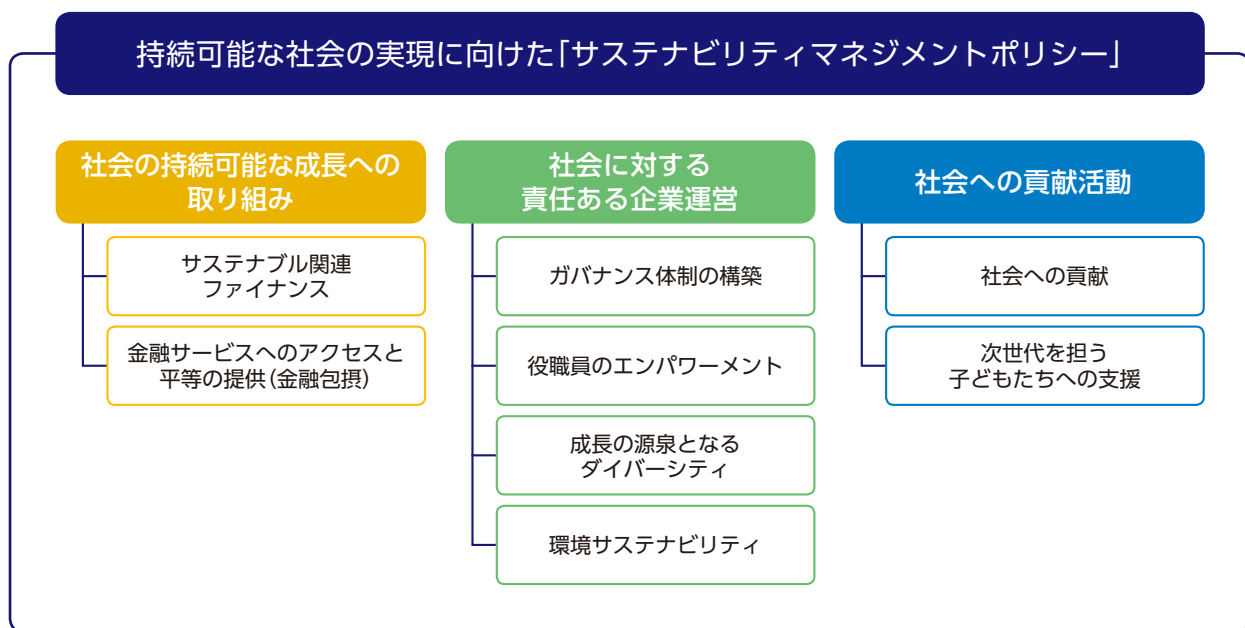


サステナビリティの取り組み

当行は、社会の課題解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

▶ サステナビリティ取り組み方針

持続可能な社会に向けたサステナビリティへの取り組み方針として、2023年1月に「サステナビリティマネジメントポリシー」を定めました。「社会の持続可能な成長への取り組み」「社会に対する責任ある企業運営」「社会への貢献活動」という3つの分野において、当行における8つのマテリアリティを特定しています。



▶ 推進体制

当行では、執行役会でサステナビリティに関する重要事項の確認と協議を行い、取締役会に定期的に報告することとしています。2023年3月には、サステナビリティへの取り組みを強化するため、関係部門からなる「サステナビリティ推進チーム」を立ち上げました。サステナビリティへの取り組みに関する全体管理や企画は経営企画部が中心に行い、組織横断的な取り組みは、サステナビリティ推進チームが検討・推進する体制にしています。



気候変動への対応

当行では、持続可能な社会の実現のため、役職員による省資源・省エネルギー・リサイクル活動を行い、環境負荷低減に努めています。省エネルギー設備・機器への入れ替えのほか、サプライヤーへの対応、リスク管理を進め、気候変動対応の取り組みを推進してまいります。

CO2排出量の削減および使用電力の削減

資源エネルギー庁は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法) で定めた事業者に毎年度エネルギーの使用状況などの報告を求め、省エネの結果に応じてS(優良事業者)・A(一般事業者)・B(停滞事業者)にクラス分けを行い、Sクラスについては公表しています。

当行は、省エネに対する意識を高めて通年で節電に取り組み、2016年度以降、6年連続でSクラスの評価を得ています(2022年度実績に対する評価は2024年に公表される予定)。

温室効果ガス (GHG) 排出量・エネルギー使用量・電力使用量

計測項目	単位	実績年度						
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
CO2排出量 (Scope1+Scope2)	t-CO2	3,418	3,094	2,670	2,334	1,947	1,724	1,750
エネルギー使用量合計 (原油換算)	KL	1,758	1,635	1,444	1,282	1,095	991	984
エネルギー使用量合計 (熱量換算)	GJ	68,150	63,398	55,976	49,718	42,471	38,426	38,173
電力使用量	千KWh	6,709	6,312	5,582	4,974	4,261	3,856	3,830

省エネ・環境配慮型製品の導入

エコオフィスづくりを推進し、空調設備、LED照明、フロアカーペット、低燃費自動車などの省エネ・環境配慮型製品を導入しています。行内ではFSC認証*を取得したOA用紙を使用することで、森林保護および環境保全に努めています。また、サプライヤー候補選定の際は、環境負荷低減に配慮した事業活動を行う企業、商品の採用を行っています。

エコオフィスづくり



*FSC認証は環境、社会、経済の便益に適い、きちんと管理された森林から生産された林産物や、その他のリスクの低い林産物を使用した製品を目に見えらる形で消費者に届ける仕組みで、第三者認証機関により規格を満たしたと判断された場合に発行されます。

ペーパーレス化・リサイクルの推進

会議資料や行内文書の電子化により、コピー・印刷を削減しペーパーレス化を進めています。また、廃棄文書の100%再資源化、行内の備品・文具のリユース活動、マイカップ・マイタンブラーの使用も推進しています。

気候変動リスクへの対応

気候変動が重要なリスクであるため、移行リスクや物理的リスクが与える影響を踏まえた情報開示や、環境に配慮した投融資方針の策定などの対応を検討してまいります。

マテリアリティ(重点課題)と具体的な取り組み

マテリアリティ	具体的な内容/主な取り組み	関連するSDGs	関連ページ
サステナブル関連 ファイナンス	金融サービスを通じた企業の持続可能な成長の促進を支援 - ベンチャー企業支援 - 事業承継への取り組み	 	P.23-24、 29
金融サービスへの アクセスと平等の提供 (金融包摂)	従来金融サービスを十分に受けられなかった 例えば高齢者・外国人などのお客さまに注力し、 利便性の高い金融サービスを提供 - リバースモーゲージ「充実人生」 - 永住権をお持ちでない外国籍のお客さま向け住宅ローン「スター住宅ローン」	  	P.21-22
ガバナンス体制の構築	コーポレート・ガバナンス、法令遵守、リスク管理、 情報セキュリティ強化のための健全な枠組みの構築 - 各種方針の策定 - サステナビリティ推進体制の構築	 	P.30、 43-44、 52-60
役職員の エンパワーメント	人材を重要な資本と捉え、自律的キャリア構築、 エンゲージメント向上を支援 職場の公平性と健全性を通じ自由と規律の共存する自律 型組織への変革 - 人材基盤の強化 - 働きやすい・働きがいのある職場環境	   	P.35-38、 42
成長の源泉となる ダイバーシティ	多様な人材により、組織の活性化や 新たな価値創造につなげる - 多様な働き方 - グローバル人材の活躍推進	  	P.39-40
環境サステナビリティ	「省エネルギー、脱炭素への取り組み、環境のサステナビ リティ」を基本方針に、事業活動を含め、環境負荷低減に取り 組む - 省エネ・環境配慮型製品の導入 - ペーパーレス化・リサイクルの推進	    	P.32
社会への貢献	お客さま、地域社会、地球環境などへの貢献活動 - FITチャリティ・ランへの協賛 - 行員のボランティア参加	  	P.33
次世代を担う 子どもたちへの支援	次世代を担う若者や子どもが、将来希望を持って自立した 人生を歩んでいけるよう社会課題解決に向けた活動 - 金融教育の取り組み - 子どもの貧困解決のための「東京スター 子ども応援プロジェクト」	    	P.34

社会貢献の取り組み

当行は、企業としての社会的責任を果たし、社会・お客さまとともに発展していくため、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。そして、これらの活動を実施する際の指針となる基本方針として、「社会への貢献」「次世代を担う子どもたちへの支援」の2項目を掲げています。

▶ 社会への貢献

当行は、持続可能な社会の実現のため、役職員によるさまざまな活動を行い、お客さま、地域社会、地球環境などへ貢献し、社会とともに持続的に成長する会社になることを目指していきます。

○ FITチャリティ・ランへの協賛

FITチャリティ・ランは、地域に根ざした社会的に意義ある活動をしているものの、認知度などの問題により十分な活動資金を確保できていない団体への寄付を通じて、社会貢献を行うチャリティイベントで、当行は、2013年から毎年協賛しています。2022年は、国立競技場での会場開催と、自分が走った距離をアプリに記録してオンラインで参加することもできるハイブリッド形式での開催になりました。当行は、役職員とその家族・友人など約60人がランナー・ウォーカー・ボランティアとして参加しました。FITチャリティ・ランの行内向けの告知や募集、実施サポートなどは本取り組みに賛同する有志の行員ボランティアで行っています。



○ 地域清掃活動への取り組み

2023年4月、本店所在地である東京都港区が定期的に開催するクリーンキャンペーンに参加し、溜池山王駅周辺の清掃活動を行いました。1、2年目の若手行員を中心に27人が参加し、コロナ禍の影響で交流が少なかった行員同士のコミュニケーションの機会にもなり、行内にも良い影響を及ぼしています。また、清掃後には、行員のサステナビリティ意識の醸成や社会貢献活動への関心を高めることを目的に、SDGsワークショップを実施しました。



○ 店舗を通じた地域への貢献

店舗では、地域のイベントや子ども食堂ボランティアへの参加、献血への協力など、地域社会の一員として、地域貢献活動に取り組んでいます。

▶ 次世代を担う子どもたちへの支援

当行は、未来の社会がより豊かなものになることを目指して、次世代を担う子どもや若者が、将来、希望を持って自立した人生を歩んでいけるよう、金融教育や貧困・虐待などの社会課題解決に向けた活動を行っています。

○ 金融教育「お金のスタートレーニング」

当行では、子ども・若者に金融教育を行うことは、子どもの貧困連鎖の防止にも役立つと考え、貧困家庭の支援をしているNPOなどと連携して、金融教育「お金のスタートレーニング」を実施しています。2022年は、子どもたちだけでなく、社会的養護施設の職員や里親、保護者などにも対象を広げました。また、オンライン講座を中心に実施し、約400人が受講しました。



○ 東京スター 子ども応援プロジェクト

日本で増加傾向にある「子どもの貧困」においては、単純な経済的困窮だけでなく、さまざまな問題を同時に抱えているがために、次世代への貧困の連鎖が大きな問題となっています。当行では、2019年から子どもの貧困解決のため、「東京スター 子ども応援プロジェクト」として3つの施策を推進しています。

■ 子ども食堂への活動資金支援

子どもたちの成長環境が暖かく、豊かなものになるように、子ども食堂の活動を支援しています。支援金の使途を食材費などに限定せず、子ども食堂のそれぞれのニーズに合わせて、さまざまな使途でお使いいただけることが最大の特徴です。2021年度からは、子ども食堂が安全に運営できるよう、実施団体のコンプライアンスを支援する「安心・安全プログラム」を提供し、持続性のある子ども食堂の運営にも貢献しています。



■ 社会的養護施設出身者等への奨学金(東京スター銀行奨学金)

NPO法人ブリッジフォースマイルと連携し、社会的養護施設出身者などを対象にした給付型奨学金制度「東京スター銀行奨学金」を提供しています。金銭的支援に加え、ボランティアが月に1回奨学生と会って話を聞くメンター制度を設けることで精神的なサポートも提供しています。2021年度から奨学金の受給条件に毎月家計簿などを提出することを組み込み、金銭管理能力の育成を図っています。



■ シングルマザーへの就労支援

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむと連携し、シングルマザーの方が、より安定した職業生活と家庭生活を送り、お子さまと安心して生活ができるよう、シングルマザーのための就労支援プログラムを実施しています。2021年度からオンライン講座に切り替えたことで、全国各地から参加可能になり、就労支援が少ない地域の方にも受講していただけるようになりました。

